

防犯(2) 高塚台2丁目自治会(河合町)

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	約490世帯
◇人口	約1,240人
◇内65歳以上人口(高齢化率)	約310人 (約 25 %)
地域の特徴	
◇まちの特徴	昭和50年前後に開発された西大和ニュータウンの一角。大阪などへの交通の便も良い。
◇過去の災害、想定される災害	過去における災害はない。第二次奈良県地震被害想定では最大震度7が想定されている。
◇犯罪発生状況、想定される犯罪	自転車盗の被害があることなどから、駅前の自転車整理、駅前や広場などの美化を推進している。

設立年月日	平成10年～
設立のきっかけ	自分たちのまちは 自分たちの手で！という思いから、自治会と連携して自主防犯・自主防災の組織を設立した。
目的・キャッチフレーズ	自分たちのまちは 自分たちの手で！
予算規模	自治会から防犯・防災に充てている費用：約83,000円
主な活動内容	
◇防災・防犯など一体的な活動	児童の登下校時、防犯パトロール隊主体で地震防災訓練を実施している。
◇防災活動	全住民向けの防災活動・子ども対象の楽しい防災・平生の活動は人との繋がりを築き上げることに重点をおいている。
◇防犯活動	子どもの見守りやわんわんパトロールを始め5つの活動を中心に、参加できる者が参加できる日時を確認し合い、継続している。
◇その他の活動	地域の学校との連携や民生児童委員も含めた災害時要援護者対策など。
主な連携先	

河合町・高塚台2丁目自治会の紹介



河合町：人口約19,400人
高齢化率約25.7%

高塚台2丁目：約1,240人
世帯数約490戸
高齢化率約25%
(西大和ニュータウンの一角)



文部科学大臣表彰
(平成21年度学校安全ボランティア活動奨励賞)

高塚台2丁目防犯パトロール隊

自分たちのまちは 自分たちの手で！



河合町・高塚台2丁目自治会

高塚台2丁目自治会の特徴

- H10 1人から始まった見守り
- H14 ボランティアパトロール隊結成 (有志・仲間の増加)
- H16 自治会活動の一環として認められる (パトロール中の偶発の事故など・隊員17名)
- H18 河合町総代・自治会長会の諮問機関である防犯・防災専門部会立ち上げの推進力となった
自主防犯パトロール隊確立(現在42名で活動)
パトロール隊の仲間から自主防災の機運が高まる
- H21 自主防災会結成 (会長は防犯隊長が兼務)

高塚台2丁目自治会の活動指導案

- (1) 子どもの登下校時の見守り (あいさつ声かけ運動)
- (2) 地域の小学校と連携する
- (3) 徘徊している認知症の方を保護するサポーター (オレンジリングの携帯者)
- (4) 消火栓探し 親子スタンプラリー
- (5) かわいっこ かえるきゃらばん!の展開

★子どもの登下校時の見守り


ひとりでも続けるぞ！
(地域に何か返したい)

↓

仲間(賛同者)の出現

↓

組織として確立



来れる時に、
来れる人がやる。
あくまで、強制はしない。

★子どもの登下校時の見守り

「挨拶声かけ運動」を
日常の子どもの登下校時
の見守り時に実施する



大きな声で相手の目を見
ての挨拶の励行習慣
をつける

子どもの登下校時の見守り（学校との連携）

学校 ⇄ 地域

- ・音楽会や授業参観への招待
- ・お楽しみ会などへの参加
- ・学校PTAや先生方との交流会



いかのおすしー人前のダンス
(町立河合第三小学校金管バンド&モア)

見守りだけでなく、日常からの
関わりを持つことが大切！

子どもの登下校時の見守り（学校との連携）

学校 → 地域

低学年の下校時間のお知らせ
が毎月ある。
時間を確認し合って取り組ん
でいる。



登下校の最中に防災訓練を組
み込むこともある。
(学校にも通知してから)

・ 防犯から防災へ ・



防犯パトロールを
続ける中で
若い隊員を中心に
自主防災会結成
(H21.4結成)



夏休み
子ども対象の
イベント
(H21.8.8実施)

消火体験し 親子スタンプラリー

消火 避難時の行動要領 避難 避難時の行動要領

1 2 3 4 5

1. 消火体験 2. 避難訓練 3. 防災講話 4. 親子スタンプラリー 5. 表彰式

1. 消火体験 2. 避難訓練 3. 防災講話 4. 親子スタンプラリー 5. 表彰式

1. 消火体験 2. 避難訓練 3. 防災講話 4. 親子スタンプラリー 5. 表彰式

継続は力なり！